

美桑が丘

《 校 訓 》

『創造敬愛』

下川中学校 学校だより

第11号

R 2. 3. 25 発行

1年間のご支援に感謝して

校長 藤弘 のぞみ

13日に卒業生28名を送り出し、本日また1年生26名、2年生31名にしばしの別れを告げました。12日後には、28名は高校生に、57名は新しい学年の表情で登校して来ることでしょう。

保護者、地域の皆様にはこの1年間多くのご支援を賜りありがとうございました。おかげさまでお預かりしたお子様を全員、進学・進級させることができました。

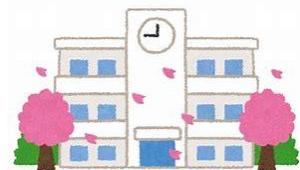
私たち下川中学校の教職員が願うことは二つだけ。即ちお預かりした子どもたちが笑顔で毎日を過ごせること、将来にわたって心豊かな生活を送れること、それだけです。

私の自宅は旭川市の豊岡にあるのですが、生前、作家の三浦綾子さんご夫妻がよく我が家の前を腕を組んで散歩されていました。高校時代に、クリスチャンであった友人から贈られた『塩狩峠』を読み、「人」への愛を描き切ったこの作家の怖いくらいの洞察力に畏敬の念すら感じました。『銃口』では教員である自分の生き方を深く考えさせられました。腕を組んで語らいながらゆっくり歩くご夫妻にお声掛けするのははばかられ、目で会釈するようになったことが思い出されます。

年度の終わりに、三浦綾子さんの文章の一節をご紹介します。次年度への新たな決意につなげたく思います。子どもたちが毎日健康で明るく過ごせることを願って。

馴れるということは
何と恐ろしいことであろう
馴れることによって
感謝すべきことを
不満の種にしてしまうのだ

三浦 綾子



分散登校

■臨時休業中の生徒の健康状況・学習状況を把握するため3月16日・25日分散登校日を設定しました。当日はなるべく少人数と考え、学年別に時間をずらしての登校となりました。約60分の中で私物の返却や健康管理・学習の進め方・休み中の生活について指導しました。登校した生徒達の笑顔がたくさん見られ、少しだけ学校に元気が戻りました。この事態が早く終息し、再び学校に活気があふれることを、教職員一同願っております。



第73回卒業証書授与式より



第73回卒業証書授与式



■3月13日(金)10時より本校体育館において、第73回卒業証書授与式が行われました。今年は新型コロナウイルス感染予防のため2月27日から臨時休業となり、卒業式に向けた準備や練習は一切できず、即本番という状況での卒業証書授与式となりました。当日は卒業生・卒業生の保護者・PTA会長・学校設置者・教職員のみで行われました。座席も一人一人2mの間隔を空け、内容も大幅に縮小させていただきました。教職員・1~2年生としては、これまで学校を支えてきた卒業生の新たな門出に当たり、美しく飾り付けた会場で多くの方々の祝福を受けて下川中学校を卒業して行ってほしかったのですが、残念ながらそれはかないませんでした。式では、卒業生28名それぞれが藤弘校長から卒業証書を受け取り、保護者の方々へ手紙を手渡しました。また、卒業生代表の高屋鋪始禾さんが3年間の思い出を語り、支えてくれた友人や保護者などすべての人に感謝の言葉を述べました。その後卒業生による「この地球のどこかで」の合唱で式は終了しました。今年度卒業の3年生はこのような状況にもかかわらず、堂々とした態度で、しっかりと前を見つめ立派に卒業していきました。卒業生のこれからの人生に多くの幸多からんことを願っています。

お世話になりました

■今年度の人事異動により5名の教職員が離任することとなりました。保護者や地域の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

堀 博樹 教頭(鷹栖町立鷹栖中学校へ)

明るく素直で心優しい生徒達と過ごせた2年間は、私にとってかけがえのない時間でした。また学校運営を行っていく中でどれほど保護者・地域の方々に支えていただいたかわかりません。これまで無事過ごせたのもそういった方々のおかげだと、下川町を去る今、つくづく感じております。この町で学んだことを忘れず、新任地においても頑張りたいと思います。ありがとうございました。

今後の予定

- 4月 7日(火) 着任式 始業式 入学式
- 8日(水) 二計測 視力・聴力検査
尿検査(1次)
- 9日(木) 午前授業(町教研総会)
前期認証式
- 10日(金) 常任委員会
- 13日(月) 振替休業(4月19日分)
- 14日(火) 家庭訪問(~24日)
- 15日(水) 職員会議
- 19日(日) 第1回参観日
PTA 総会 歓迎会
- 20日(月) 対面式 研修日
- 21日(火) 常任委員会
- 22日(水) 心電図検査(1年)
内科検診(全学年)
- 23日(木) 歯科検診(全学年)
- 24日(金) 生徒総会
- 27日(月) 職員会議
- 29日(水) 昭和の日

勝瀬 久美子 養護教諭(中富良野町立中富良野小学校へ)

下中生のみなさん、楽しい時間をありがとうございました。保護者の皆様、地域の皆様、大変お世話になりました。下川中学校で過ごした4年間は本当にあっという間でしたが、学びの多い4年間でもありました。最後の時間を下中生のみなさんと過ごすことができなかつたことが残念ではありますが、またどこかで会える日を楽しみにしています。

佐藤 修一 教諭(新採用)

期限付教諭として3年間、お世話になりました。下中の生徒達はまじめで、元気でとても素直でした。体育祭での生徒達の頑張り、学校祭での学年発表や合唱は一生忘れません。また保護者の方々、地域の方々、たいへんお世話になりました。次の勤務地は渡島管内の鹿部町と距離は遠くなりましたが、下中での様々な経験を活かし、頑張っていきます。ありがとうございました。

丁門 容子 事務職員(新採用)

赴任当初、中学生の子どもたちは挨拶をしてくれるのだろうか?と少し心配していました。しかし、下中の子どもたちは、礼儀正しく元気いっぱい挨拶をしてくれました。とても感動し、赴任して良かったと思ったことを覚えています。

1年という短い間ではありましたが、お世話になりました。下川中学校での経験を活かし、次の勤務地でも頑張っていきたいと思っております。本当にありがとうございました。

鈴木 綾香 教諭(旭川市立愛宕東小学校へ)

教員として、初めて勤めさせて頂いたのが下川中学校でした。着任の挨拶で自分の名前を言うのを忘れてしまうほど緊張していた私に、笑顔で声をかけてくれたことを今でも覚えています。教科では英語、部活動ではソフトテニスを担当させて頂きましたが、自分でやると決めたことは最後まで全力で取り組む皆さんの姿勢に感動しました。優しく、親しみを込めて接してくれた皆さんと過ごした4年半は私にとってかけがえのない宝物です。次の学校でも、ここで経験させて頂いたことを生かし、さらに成長できるように頑張っていきます。下中生の皆さん、保護者の方々、地域の方々、長い間お世話になり、ありがとうございました。